

売上

(15/4Q)

■ 連結売上高: 91.8億円 (前年比11.8%増)

- ・主力の“Wish upon a star”の売上が前年比74.5%増と大幅に伸長し、増収に貢献。
- ・ブライダル商品が前年比28.3%増と堅調に推移し、販売単価の向上に寄与。

利益

(15/4Q)

■ 連結売上総利益: 57.6億円 (前年比11.8%増)

- ・高付加価値の“Wish upon a star”は拡大も地方のセール施策拡大で粗利率は想定割れ。
- ・ベトナム子会社製品での売上構成比は41.1%となり、商品原価率を抑制。

■ 連結営業利益: 1.2億円 (前年比31.4%減)

- ・売上総利益は増加も、販売費及び一般管理費が前年比13.4%増で営業利益は減益。
- ・先行投資の効果が奏功し、下期は上場以来過去最高益を達成。

16/8月期 通期予想

■ 連結売上高: 96.0億円 (前年比4.5%増)

■ 連結営業利益: 2.4億円 (前年比89.8%増)

- ・「新中期5ヵ年計画」の初年度として、さらなる成長戦略投資の下、増収増益を見込む。

1. 連結業績(経営成績)

業界内の競争が益々激化する中、積極的な販促施策の実施により、増収を達成したものの、費用の大幅増が影響し減益

<経営成績(連結)>

(単位:百万円)

	2014/4Q (累計)	売上 構成比	2015/4Q (累計)	売上 構成比	前期比 増減率	前期比 増減額
売上高	8,212	100.0%	9,184	100.0%	11.8%	972
売上総利益	5,161	62.9%	5,769	62.8%	11.8%	608
販売費及び 一般管理費	4,977	60.6%	5,643	61.4%	13.4%	665
営業利益	184	2.2%	126	1.4%	△31.4%	△57
経常利益	149	1.8%	113	1.2%	△24.5%	△36
当期 純利益	30	0.4%	15	0.2%	△51.0%	△15

売上高は、“Wish upon a star”を基軸としたプロモーション施策が奏功し、前年同期比11.8%の増加。

利益面は、売上総利益が増収に伴い増加したもの、粗利率の想定割れに加え、計画以上に投下したプロモーション費用の影響で営業利益は減少。

海外事業は、販売部門の台湾子会社が引き続き好調だったことに加え、生産部門のベトナム子会社も製造機能が向上し、連結業績に寄与。

2. 連結業績(財政状態)

「受取手形及び売掛金」、「商品及び製品」、「有形固定資産」が増加したため、
総資産は前期比833百万円の増加

(単位:百万円)

		2013/4Q	2014/4Q	2015/4Q	前期比 増減額
資産	流動資産	4,611	4,908	5,497	589
	固定資産	1,139	1,179	1,426	247
	繰延資産	7	5	3	-2
	合計	5,758	6,093	6,926	833
負債	流動負債	3,335	3,693	3,723	30
	固定負債	998	952	1,729	777
	合計	4,334	4,646	5,453	807
純資産	株主資本	1,437	1,445	1,437	-8
	その他	△13	2	36	34
	合計	1,423	1,447	1,473	26
負債純資産合計		5,758	6,093	6,926	833

受取手形及び売掛金が80百万円増加したことに加え、販促施策の強化に向けた対応や新規出店の増加に伴う在庫の拡大等により「商品及び製品」が479百万円増加、「原材料」が10百万円増加したことが要因。

SC店舗を中心とした新規出店により建物やリース資産等の「有形固定資産」が191百万円増加したことが要因。

未払法人税等が減少も「支払手形及び買掛金」が157百万円増加したことが要因。

中長期でのブランド戦略や店舗戦略による資金需要を鑑み、経営の安定性確保を目的として「長期借入金」が748百万円増加したことが要因。

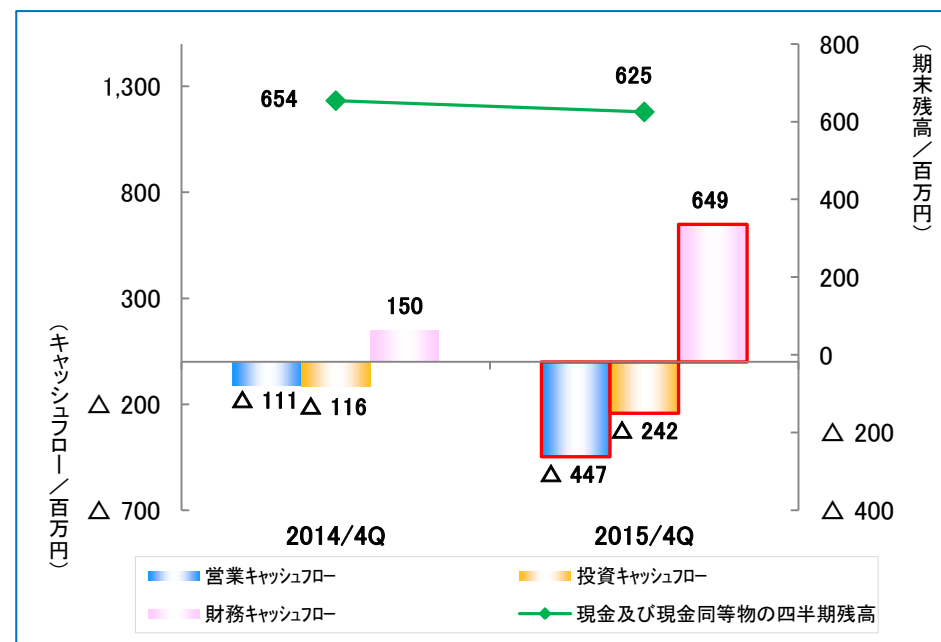
自己資本比率は21.0%となり、前期末に比べ2.5ポイントの減少。

3. 連結業績(キャッシュフロー)

営業活動により447百万円、投資活動で242百万円をそれぞれ支出し、財務活動で649百万円の資金を調達した結果、期末残高は625百万円に減少

(単位:百万円)

	2014/4Q (累計)	2015/4Q (累計)	増減額
営業 キャッシュフロー	△111	△447	△335
投資 キャッシュフロー	△116	△242	△126
財務 キャッシュフロー	150	649	499
現金及び現金同等物に 係る換算差額	3	11	8
現金及び現金同等物の 増減額	△74	△28	46
現金及び現金同等物の 期首残高	728	654	△74
現金及び現金同等物の 四半期残高	654	625	29



- 営業キャッシュフローは、「たな卸資産」457百万円の増加と「法人税等の支払額」の増加により447百万円のマイナス。
- 投資キャッシュフローは、SCを中心とした新規出店に伴う設備投資で使用了資金が主な要因となり242百万円のマイナス。
- 財務キャッシュフローは、「長期借入れ」による収入が要因となり499百万円のプラス。

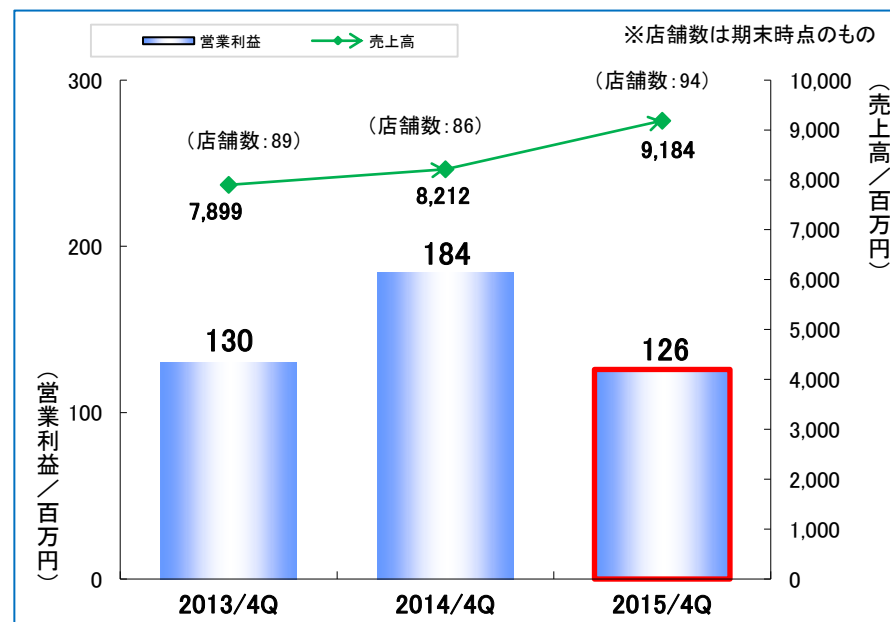
4. 連結業績の推移

グループマネジメント体制の強化により、海外事業は堅調に推移も、国内事業での利益確保に苦戦したため、増収減益。

<経営成績(連結)>

(単位:百万円)

	2013/4Q (累計)	2014/4Q (累計)	2015/4Q (累計)	前期比 増減率
売上高	7,899	8,212	9,184	11.8%
売上総利益	4,733	5,161	5,769	11.8%
販売費及び 一般管理費	4,603	4,977	5,643	13.4%
営業利益	130	184	126	△31.4%
経常利益	105	149	113	△24.5%
当期 純利益	10	30	15	△51.0%



- 売上は、前期に比べ大きく増加したものの、プロモーション強化によるコスト増が影響し、減益。
- SPA体制の基軸となるベトナム子会社の製造機能や海外展開の基盤となる台湾子会社の収益性は大きく向上。

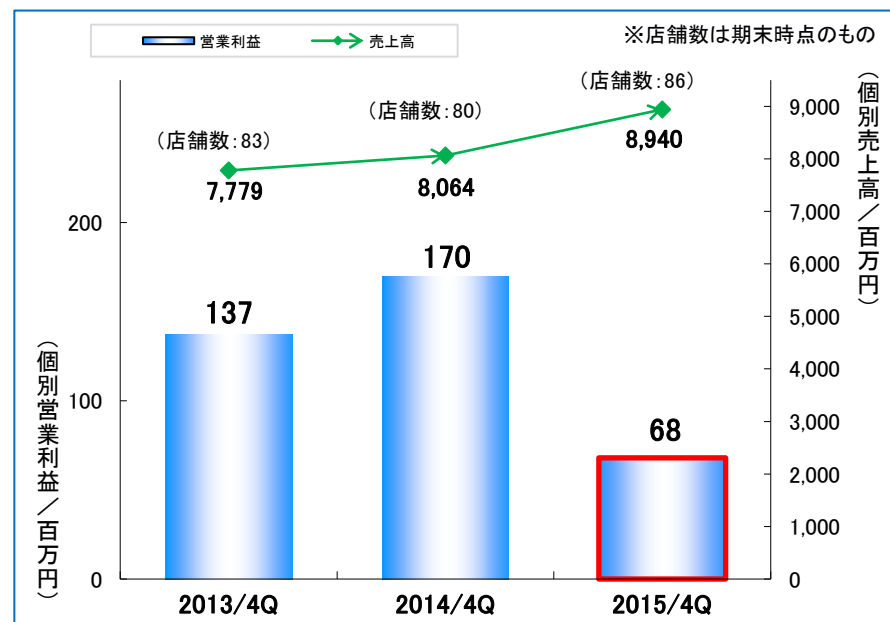
5. 個別業績の推移

プロモーション施策の効果により売上高は拡大で推移したものの、
販管費の大幅拡大が影響し、利益面は大幅に悪化

<経営成績(個別)>

(単位:百万円)

	2013/4Q (累計)	2014/4Q (累計)	2015/4Q (累計)	前期比 増減率
売上高	7,779	8,064	8,940	10.9%
売上総利益	4,623	5,001	5,542	10.8%
販売費及び 一般管理費	4,486	4,831	5,474	13.3%
営業利益	137	170	68	△60.0%
経常利益	98	132	19	△85.2%
当期 純利益	5	16	△58	—



- “Wish upon a star”が牽引し、個別売上高は前年比10.9%増と増加も、地方のセール施策拡大により粗利率は横ばい。
- TVCM等の積極投資に加え、中長期を見据えたブランド戦略投資が利益圧迫要因となり、営業利益は減少。